

# すな お

令和5年6月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮英治

発行日 2023.6.16 通巻 No.755



会 長

4月に諭達巡教として大教会長様にお運びいただき、種々お話を聞かせていただきました。その上で先月末、役員の方々と教会としての方針を相談させていただきました。

実践目標として【1、真心をこめておつとめを！】とありますが、これについては月次祭のおつとめのレベル向上を目指し①譜本を見ないでの鳴物演奏②テンポを合わせての演奏を目指す③鳴物やおてふり練習を重ねて行う。

【1、自分にできるおたすけに真実を！】については、①現在も使用しているおたすけお願いカードを通してたすかりを願う②おたすけのための理づくりとしておちばへの日々の理の御供をさせてもらう。③おさづけの取次ぎもしていくし、自らが身上になればおさづけの取次ぎを積極的にお願いするようにする。

【1、身近な人におみちのにおいを】については今も昔にもおいがけの方法はそんなに変わってはいない。ともかく、身近な人々に神様の思いを伝えていくという心を定めてチャンスを逃さない。この事についてはおたすけ勉強会のようなものを開催していく。

そして、140年祭当日の団参に向かってそれぞれが費用等の準備をしていくことも申し合わせました。このたびの年祭は令和8年1月26日の一日限りと発表がありました。その日为目标におちばへ帰らせていただく思いをもってつとめさせていただきたいと思えます。

この上記に書いた内容を全ての方が全ての事を実行して下さいと申している訳ではありません。この中でそれぞれが出来る御用を選んで、ほんの少し背伸びをしてつとめさせていただきたいと思えます。そして、年祭を迎えたその日に感動、感激できるお互いでありたいと思えます。勇んでかからせていただきましょう。

## 【こどもおちばがえりについて】



今年はこどもおちばがえりが再開され、詰所も受け入れ体制の一つとしてエアコンの設置工事を進めて下さっています。教会としては7月29日(土)午前9時に出発し、おちば参拝後回廊ひのきしん、行事参加。30日午前に行事参加後、出発。夜には教会到着の予定にしています。現在教会内には少年会員がぞくぞくと誕生していますが幼児が大半ですので、ともかく【おちばへ帰らせてもらい、泊まらせてもらう】を主体に計画をしています。また、大人の方々も久しぶりのおちばがえりの機会と捉えて参加していただけたら、なおけっこうかと思えます。別紙申し込み書を用意しますので、参加希望の方は申し込みをお願いします。



## 魂の徳

田中 道則

先日、母方のおばあさんの年祭で5年ぶりに神戸へ行ってきました。自分のいとはみんな関西にいたので、叔父の家に集合しいろんな話をしました。陽都もいとこや初めましてのはとこ達と子供同士で走り回っていました。田中家以外は女兄弟ばかりの親戚でしたが、神戸に男の子が次々と誕生し、これから成長する姿を見るのが楽しみになってきました。

コロナが落ち着き今年は久々に教会からこどもおちばがえりに参加する事が出来ます。おちばに足を運ぶことで親も子も大きな徳を頂けます。我が子に残すのはお金ではなく魂の徳です。夏のおちばがえりに向けて勇んでつとめたいです。



## 優しさへの恩返し

椿 信代

お腹が大きくなってきて、日常生活で人の優しさに触れる機会が多くなりました。

まだマタニティマークをつけていなかった頃、混雑した電車で荷物を持って立っていたら目の前のお姉さんが「ここ座ってください」と席を譲ってくれました。自分がよく電車に乗るので人に席を譲るのにどれだけ勇気がいるかよく分かります。その人も疲れていただろうに、本当にありがたいことだと胸がいっぱいになりました。

また先日は用事でいつもと違う路線の満員電車に乗らなければならず、外の暑さとあまりの人の多さに気分が悪く立っていられなくなって電車の中で座り込んでしまいました。すると隣の外国人のお姉さんが「Are you OK?」と声をかけてくれ、さらに近くの男性が荷物を持ってきて空いた席に座らせてもらいました。おかげで体調も回復し、その後はお礼を言って電車を降りました。

この立場になって人の優しさ助けられることが増え、同時に私もこの恩を返していかなばと強く思いました。まさにこれこそが互い助け合いの心。していただいたことを当たり前と受け取らず、いざ自分がその場面に居合わせたら一歩踏み出す勇気を持ちたいです。



## 編集後記

梅雨の季節になりました。雨が頻繁に降り、各地で土砂崩れなどの被害が報告されています。さらに、台風も活発になり、多くの被害をもたらし、厳しい状況が続いています。近年の異常気象により、夏の日常の過ごし方もなかなか難しいものとなっています。今年はいちごおちばがえりが再開されます。新たな形での参加となるかもしれませんが、こどもたちの笑顔に溢れる素晴らしいこどもおちばがえりになることを願う今日この頃です。

(編集者K)